

Java/Web 技術者向けオススの成長道筋

1. Java をマスターする。

- (1) Java オブジェクト指向を理解して様々な機能を覚える。Udemy や TRAINOCAMP などの通信教育・社外研修も有効。Eclipse を使用しライブラリ構成・サーブレット・サーバー・MVC などに慣れる。
- (2) Java Silver11 資格取得向け問題集 3 種類を購入(Kindle など)して模試などで理解を深め、受験。
- (3) 文字列変換・日付処理・ソート・List などのコレクション・ジェネリック・オブジェクト指向は頻出。

2. Web 技術をマスターする。(補足)プログラムを動かしながら理解する。

- (1) JSP & Servlet をマスターする。HTML/CSS・JavaScript・JSTL なども使用して理解する。
- (2) Spring Boot を理解する。
- (3) Spring の基本を理解する。DI・AOP・Spring MVC・Spring Security・ThymeLeaf・RestfulWeb サービス・JUnit など。
- (4) データベース処理を理解する。JDBC・JPA・MyBatis・MySQL・Oracle・SQLServer・Postgres。
- (5) ThymeLeaf・jQuery・Node.js・Next.js・Bootstrap・React・Angular・Ajax などのフロント技術・フレームワーク・ライブラリを理解する。

3. 技術力を高め・広げる。

- (1) Eclipse・Maven・STS・VSCODE・Visual Studio・SVN・Git・GitHub などの開発ツールに慣れる。
- (2) PLSQL・ストアドプロシージャ・Oracle RDBMS などデータベース処理技術をマスターする。
- (3) 技術の理解と共に、要件分析・基本設計書・詳細設計書・プログラム仕様書・テスト設計書・Java 関連の設計書(クラス図・シーケンス図・ユースケース図)などの仕様書作成の技術力を高める。
- (4) 作業分析・作業スケジュール作成・進捗管理・工数見積を行いプロジェクト管理力を高める。
- (5) PM・顧客と報連相を常に行い、現場での業務遂行をオープン化し、作業を効率的に実施する。
- (6) インターフェース・抽象クラスから始まり、デザインパターン(23 種類)の技術理解。再利用性の高い柔軟な設計を目指す。
- (7) クロスサイトスクリプティング対策・SQL インジェクション対策など、Web セキュリティを考慮したシステム設計を進める
- (8) Linux のサーバー技術・Salesforce・AWS などのクラウド技術を学ぶ。
- (9) PHP・.NET(C#)・Python などを勉強して、Web 系言語の幅を広げる。
- (10) Web 系英語サイト(Spring など)の原文サイトを読破して英語力・理解力を付ける。

以上